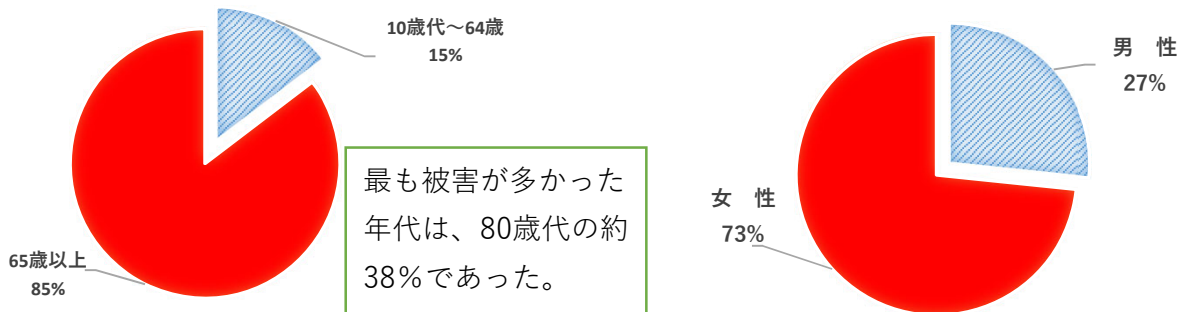


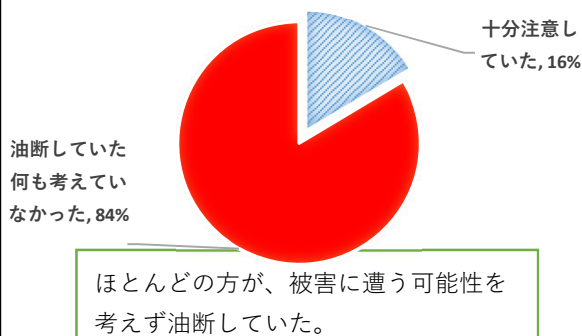
特殊詐欺被害のアンケート結果（令和2年中の被害）

兵庫県警察では、特殊詐欺の被害に遭われた方（被害者）にご協力をいただき、アンケートを実施しています。令和2年中に行ったアンケートの調査結果と被害防止のポイントをご紹介します。回答者942人

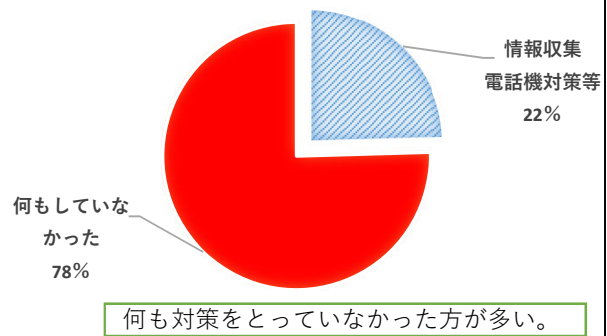
① 高齢者、女性の被害が多い！



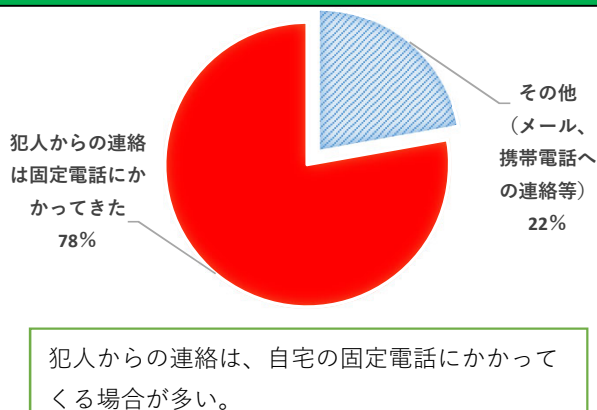
② 危機感を持ちましょう！



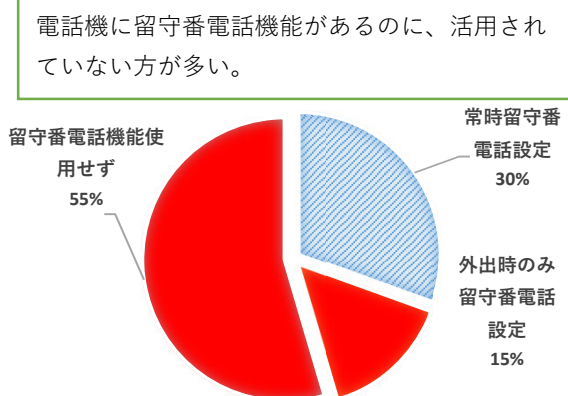
③ 対策をとりましょう！



④ 自宅の固定電話に注意です！

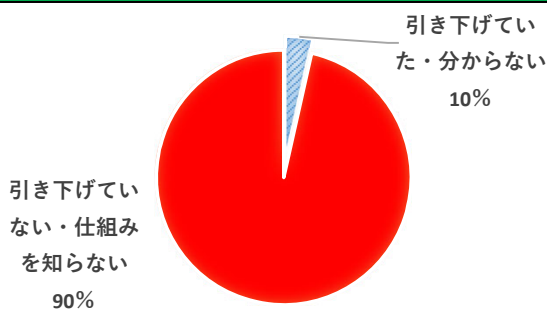


⑤ 電話機対策は？



※留守番電話機能を設置していると回答した603人に占める割合

⑥ キャッシュカードの利用限度額設定について



ほとんどの方が、利用限度額の引き下げをしていなかった。

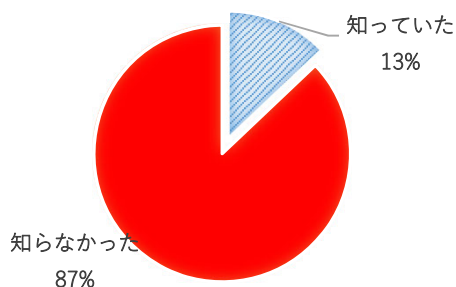
※キャッシュカード手交型399人に占める割合

対策

事前にキャッシュカードの利用限度額（出金可能額、振込可能額）を引き下げておくことは、被害の拡大防止につながります。

※ 金融機関のATM又は窓口で変更できます。

⑦ 電子マネーを騙し取る手口について



店舗で販売している電子マネーを購入させ、騙し取る手口が増加している。

※電子マネー型147人に占める割合

対策

パソコンに「ウイルス・警告」等と表示されるサポート詐欺に注意して下さい。

疑似動画はこちらです。



被害に遭わないために

被害防止のポイント

- ① 「電話でお金の話は詐欺！」電話を切って誰かに相談しましょう。
- ② 在宅中も常時留守番電話設定または防犯機能付電話などの導入
 - 電話に出ない、会話しないことが一番の防犯対策です。
 - 相手と用件を確認してから、必要に応じて折り返すようにしましょう。
- ③ ATMで還付金が戻ってくることは絶対にありません。
- ④ ATMでの利用限度額の引き下げ設定
 - ATMによる一日の現金引き出し及び振込限度額を、生活に必要な範囲内の金額に設定しておきましょう。
 - 万が一、犯人にカード等を手渡してしまった場合に、被害額の拡大防止に繋がります。
- ⑤ 警察官を騙る手口
警察官は電話で資産状況は聞きません、キャッシュカードを預かることもありません。

